

アース製薬株式会社

2022年12月期第3四半期決算フォローアップミーティング 質疑応答要旨

Q：4Q 計画に対して変動する可能性はあるのでしょうか。今後、返品が見込まれるため、計画対比の変化は大きくなるのでしょうか。

A：4Q 期間においては、虫ケア用品の返品動向による多少のブレはあるかもしれませんが、計画に対して大きく変動する要因は見込んでいません。加えて、現状進めているリカバリー策の進捗によって最終着地が見えてくると考えています。

Q：2Q 時点での「通期営業利益は 100～107 億円で着地させる」というコメントは有効でしょうか。

A：現状を鑑みて、本コメントは取り下げます。

Q：3 か月前から、どのように状況が変化したのでしょうか。

A：虫ケア用品のマーケットが回復しなかったことです。このため売上成長につながりませんでした。

Q：中計の営業利益目標 140～160 億円の達成に対して、現時点でどのように考えればいいでしょうか。

A：当初計画では 12.5 億円の原材料価格高騰・為替影響を織り込んでいました。しかしながら、当社は為替、特に人民元の影響が大きく、3Q 時点で通期計画に対して 15 億円の追加を見込む事態となりました。加えて、8 月の時点では回復すると想定していた虫ケア用品のマーケットが低調なまま推移してしまい、売上の減少につながりました。そのため、3Q 時点で営業利益は約 20 億円のマイナスとなりました。20 億円のマイナスを縮小させるために、返品削減や一層の経費コントロールを進めていく必要があるかと考えています。ただし、20 億円を全てカバーするのは難しいのも事実です。こうした状況下であることを踏まえて、140 億円の営業利益は高すぎる目標だと認識しています。しかし、新たな消費喚起を促す虫ケア用品の開発や価格転嫁などを計画し、少しでも目標に近づける努力は進めていますので、具体的には 2023 年 2 月に説明したいと考えています。

Q：原材料価格高騰の通期の影響額が計画対比で 15 億円と 2Q から増加しています。為替レートは 2Q から大きく変化しているように見受けられません。どの原材料が大きく影響しているのでしょうか。現状の原材料の構成比（国内外、剤別など）を教えてください。

A：為替影響込みの原材料価格高騰の影響額を記載しており、それぞれの影響額を算出するのは難しい状況です。また、6 月末と 9 月末での為替レートの変化は小さいものの、現在でも円安状況に変化はありません。これらの点を踏まえ、影響額を再度提示させていただきました。原材料の構成比については、大変多くの原材料を使用しているため、詳細の回答は出来かねます。例えば、入浴剤の原料（芒硝・重曹）は海外から輸入しているため為替の影響をダイレクトに

受けます。また、白元アースのマスクは中国から輸入しているため影響を受けます。

Q：10月の入浴剤マーケットを教えてください。

A：10月単月の入浴剤マーケットは前年比で約100%です。

Q：秋の新製品の進捗状況を教えてください。

A：9月末はようやく出荷が始まった段階のため、数値で表れる進捗はまだ小さい状況です。足元の出荷動向を確認している限りでは順調です。

Q：BARTHの事業譲受について、改めてご説明いただけますでしょうか。本事業譲受によってBARTH製品にアース製薬のロゴが入り、ブランド価値の棄損につながらないでしょうか。

A：BARTHブランドが当社の一ブランドになり、販売元に当社名が入ることになりますが、ブランド価値は棄損しないと考えています。加えて、株式会社TWOの東氏は当社には移りませんが、ブランドマネージャー、営業等16名の方々が当社社員になる予定です。

Q：のれん償却後の営業利益のイメージはどのくらいでしょうか。

A：のれん償却後も黒字の予定です。償却期間は10年もしくは10年未満を想定しています。

Q：BARTH事業の成長率、今期の見通し、製品概要（単価、製品の構成比、ユーザー層、販売チャンネルなど）を教えてください。

A：過去2年の売上は、入浴剤マーケットの拡大に影響を受けた面とオーガニックで成長した面があります。2021年8月期と2022年8月期の成長率は現在の入浴剤マーケットの成長と同水準の成長率と考えてください。入浴剤の他にもボディクリーム、リップクリームなどの製品があり、6SKUを扱っています。入浴剤の単価は900円（9錠入り）、1回当たりの使用量は3錠のためユニットプライスは300円です。また、ターゲットは20～30代女性です。ファミリーユースやデイリーで使用する製品ではなく、自分へのご褒美として使用する製品になっています。

Q：シナジーのある製品を今後発売していくと思いますが、パイプラインはあるのでしょうか。

A：契約を締結した段階のため、現時点では製品開発の具体的な話はありません。

以上